

- 関西独特のしゃべり口調と雰囲気を楽しませていただきました。悩みと迷いの違いで、私はいつも「悩み」に行ってしまうので「迷い」に考えると楽しくいけると思いました。
- 保育所では、日常笑うことが多いです。これから、もっと子どもたちと「笑い・ユーモア」を心で感じ、お互いに共感できる環境を作っていきたいです。
- 一番心に残ったのは「病気がなくても幸せでなければ健康ではない」という言葉です。子どもたちが楽しく過ごせる学級を作りたい。幸せと感ずるためには楽しいと思わせること。「笑いのハーモニー」を育てることが大切だと感じました。ありがとうございました。
- 楽しい気持ちで作った給食は、子どもたちも「美味しい」と思うだろう。給食時間の教室巡りを二学期は笑顔でできるよう鏡に問いかけていこうと思います。ありがとうございました。
- 沢山笑うことができました。「笑う」って幸せなんだと今の小さな幸せに気づくことができました。笑顔あふれる学級をこれからも作っていきたいです。3つのベルも子育てのなかで大事にしたいと思います。
- 笑いながら大事なことを沢山教えていただきました。子どもたちと接する時に、自分は笑顔でいるだろうか？眉にシワを寄せていないか？幸せカードは、なかなか思いつきませんでした。実際には沢山の幸せを持っているのでしょうか…。小さな幸せを実感出来るようになりましたと思いました。
- 質問の時間に挙手出来なかった自分をとても後悔しています。「おもしろい。いっぺんやってみ」の精神を教わりながら「いっぺん、やってみよう」と行動出来ませんでした。学校でハイタッチやなぞなぞを取り入れたいです。家庭では二児の父として子育てのヒントもいただきました。夫婦円満で子どもにストレスを与えない生活をしていきたいです。
- 元気が出る楽しいお話でした。ユーモアは知性。日頃、仕事で同僚と関わる時に同じことを感じていました。自分には無い発想を持つ同僚をみて、自分はずまらないと思っていましたが、好奇心を持ってやってみることで少し変わるなら、もっと幸せになるためにやってみようと思います。
- とてもよいお話でした。ふり返ってみると「最近、笑ってなかったな～」と。今日は沢山笑ってストレス発散できました。これから少しずつ実践していきたいです。まずは家庭からかなあ～。頑張ります。
- 笑いは全ての生活のなかで大切だとわかりました。実感としてはわかっていますが、それを実践していくには、まず自分が幸せでなければならぬこと。幸せを感じる豊かな心がなければならぬことが改めてわかりました。ユーモアのセンスがいかに大事であるか。自分自身、周りの家族や教室の子どもたちのために豊かな人間になるために大いに笑っていきたいです。
- 共感できるところが沢山あり、面白く学ぶことができました。学校では、いつも子どもたちに「変われ」「成長しろ」と求めています。が、「教師が笑えば」に通じるように、まずは自ら変わり成長していきたいです。ハイタッチは家庭などでも習慣にしていきたいです。
- 学級経営に活かせる内容が沢山あり楽しかったです。笑いのある学級を目指して子どもを叱り、褒めたいです。ユーモアはしっかり育てていかないと自然に出来るものではないとわかりました。ユーモアを育てるために川柳やなぞなぞに取り組みたいです。
- 話にテンポと絶妙の間があり、とても面白かったです。授業で「笑わせてないな～」と反省。ユーモアを意識することは生徒にも自分にとっても、役立つものだと感じました。
- 久しぶりに腹の底から笑いました。職場や教室をみると確かにユーモアのセンスが無いと改めて感じました。身近なところから取り組んで、笑顔いっぱいを目指したいです。自分が笑い楽しくポジティブ思考で「辛」い仕事も「幸」せに感じるように取り組んでいきたいです。



- 「仕事は面白い、人生は楽しい」と思っているとユーモアが降りて来る。病気の原因の50%はストレス。人間は笑わなければならない。楽しいな、嬉しいな、美味しいなをいつも口にするを明日からやってみようと思います。とても元気をもらい、これからの生き方、教師として親として妻として、こう生きたいと考えさせられました。
- 「おもしろいな〜」「いっぺん、やってみ」「なかような」の久木野弁が飛び交う学校になれば、元気がいきいきとした子どもたちが育っていくあと、話を聴きながら考えさせられました。まずは、職員室から我が家から始めなければ。有意義な講演会をありがとうございました。
- 「笑い」が健康、人間関係、創造力にいいことを知ることができ、笑いが教育にもいいと知り、これからユーモアいっぱい授業作りを行っていききたいと思いました。笑いがいっぱいの学級を作っていきたい。四季を感じる(五感)心と笑いを大切に生きていきたいです。
- 「幸せですか？」の問いに即答出来なかったのは、自分で理屈を考えて言い訳をしていたのだと思います。話を聴いたあと「幸せになった」「元気になった」と感じる講演は数年に1回程しかありませんが、今日のお話には間違いなく元気をいただきました。ダジャレから始めます。
- ユーモア、好奇心、協調性の大切さ。教師としての基本以前に、人として幸せであるための生き方のコツを学べる時間でした。全てが上手く行かないと悩む時、その原因を他者に求めがちですが、そんな自分のなかに解消していく鍵があるのだと学びました。物事をどのように捉えるのか、視点を変えていく余裕が大切、その余裕がユーモアに繋がるのだと感じました。学校を変えるためには・・・身近なところにその鍵があることを学ぶことができました。
- 授業中に冗談を言うと「ふざけないでください」と言われますが、今日の講演で良い理由付けが出来ました。教室でハイタッチをして笑いを大切に仕事をしていきたいです。
- 「笑い」についてストレスや医療の観点からも学ばせていただきました。日頃から笑っているつもりでしたが、笑うことで何かを改善し落語の目線でネタ探しをしたいと思います。私は幸せです。雨風の当たらない家の中で眠れること、床の上で横になれること、今ここにいて全てが幸せです。子どもたちにも自分の肯定感や幸せを感じる感性を伝えていきたいです。
- 「笑い」いつも授業の中で子どもたちを笑わせようと思いますが、難しいです。ユーモアは頭を使うことを実感しました。笑いのある学級は、学力も伸びるし仲も良い。やはり、笑いのある学級作りを目指していきたいと思います。いっぱい笑わせていただき、ありがとうございました。
- わかりやすいお話で、よく笑えました。食べること、笑いが大事なことは以前から興味があり、自分でも勉強していました。今日はいろいろな方向から、すぐに実践できそうなものが沢山あり、さっそく実践してみようと思いました。努力を忘れずストレスの少ない日々を過ごし、長生き(ボケないで)したいです。このような機会を作ってください、ありがとうございました。
- 楽しさ、笑い、幸せについて考えさせられました。まずは職員室から大切なことだと思います。楽しい雰囲気は本校では出来ていると思いますが、本日伺ったお話を一つでも実行してみようと思いました。猛暑で夏バテ気味でしたが、本日のお話で楽しくなりました。ありがとうございました。
- 笑いとお笑いを一緒にしていました。笑いがどうして大切なのか、理論的に教えていただき納得の連続でした。幸せカードの分類では、人に与えるとか人と作る幸せが少ないことにショックでしたが、同時に子どもたちにも使える内容だと思いました。6年生担任で、これから平和学習に取り組みますが、平和な世界とは、幸せとは何かを考える時に使ってみたいと思います。そして楽しい学級作りを心がけたいと思います。ありがとうございました。
- 大学時代、京都に住んでいましたが学校でもバイト先でも、やっぱり関西の人は話し方や間の取り方が上手く、面白い人ばかりでした。関西の学校(職員室等)の雰囲気はどうなのだろう